

支出の特徴

1-4は積立金

平成元年度に町は12億2000万円の基金積立て(家庭でいえば定期預金)を行いました。このうち、10億円はひかり工業団地の土地売却代から、光町ゆめ基金として積立てたものです。この光町ゆめ基金は、文字通り夢をはぐくめるような事業を行うために積立てたもので、町の中長期的な財政基盤を確立できたといえます。

建設事業が増加

建設事業で国から補助金をいただきながら事業を進めているものとしては、農免事業(JRと国道126号線をまたぐあけほの橋の南側の延伸事業)、交通安全対策整備事業(光スクールラインの自転車歩行者道設置事業)、道路改良事業(あけほの橋の北側から台地区へ通っている道の改良工事)がありますが、いずれも計画通りの事業実施に全力を尽しました。

また、農業基盤整備事業(土地改良や田から畑への転換を図る客土事業など)、道路の直営舗装事業、生活雑排水対策事業(浄化槽の配付と排水

路整備)、好評を得た生ごみ堆肥化容器設置事業などを積極的に進めました。

さらに、大きな事業としては、光スポーツ公園とひかり工業団地の造成工事を8億円余り投入して完成しました。

ユニークな事業を実施

青少年海外派遣事業は、タイの農業とシンガポールの工業を3泊4日で視察しました。

また、新しい事業としては、国際化社会に対応するための外国人講師の招致事業、光町かるた・ふるさと探訪の発行町制施行35周年を記念してひかり音頭発表会などを実施しました。



21世紀の国際人を養成……



夢をはこんで……ひかり音頭発表会

決 算 の 内 訳

